

# プロポーザル評価基準(第一次審査)

評価項目	配点	点数	基準		視点
<b>1. 業務遂行体制</b>					
業務実施体制	10		10	特	実務担当者の人数と業務執行体制はどのようになっているか。
			8	優	
			6	良	
			4	可	
過去の業務実績	10		10	特	地方公共団体における総合計画策定支援業務の十分な実績を有しているか。
			8	優	
			6	良	
			4	可	
<b>2. 業務方針、提案等</b>					
計画策定の基本的な考え方	30		30	特	本業務の趣旨及び目的を十分理解した提案となっているか。 本市の沿革、地域特性、現在抱えている課題と主要施策などを把握した提案となっているか。
			24	優	
			18	良	
			12	可	
<b>3. 見積の妥当性</b>					
見積書	10		-	-	企画提案者の内容に沿って、正しい積算がされているか。
合計	60				

## ■評価基準

特：業務を行う上で十分な程度であり、他社と比較して特に優れている。

優：業務を行う上で十分な程度であり、他社と比較して優れている。

良：業務を行う上で十分な程度である。

可：業務を行う上で支障のない程度である。

※ 評価は上記の基準を参考に、採点するものとする。

# プロポーザル評価基準(第二次審査)

評価項目	配点	点数	基準		視点
業務の熟練度、能力、熱意、実績	30		30	特	実務担当者は取組み意欲を強く感じるか。過去にどの程度の実績があり、これまでの経験を十分に本業務に活かせるか。 他に抱えている業務等を考慮した上で、スケジュールに沿った業務遂行ができると認められるか。
			24	優	
			18	良	
			12	可	
成田市の現状の理解度、地方自治制度全般に対する見識度	30		30	特	本市の沿革、地域特性、現在抱えている課題と主要施策などをどの程度把握しているか。 各種法令や地方財政制度など地方自治制度全般に対する見識をどの程度有しているか。
			24	優	
			18	良	
			12	可	
成田市に相応しいまちづくりの発想と手法	20		20	特	今後も持続可能なまちづくりに向けて、諸課題を的確に把握するとともに、人口推計等による分析に基づいて、課題に対する対応策を具体的に提示できる能力を有しているか。 他にはない独創性を有しているか。
			16	優	
			12	良	
			8	可	
市民等の意見を計画に反映させるために有効な市民参画、職員参画の手法	20		20	特	市民や職員の意見を計画に反映させる手法について、どの程度有効な手法を提案できているか。
			16	優	
			12	良	
			8	可	
実効性のある総合計画とするための進行管理の手法	20		20	特	総合計画を実行性あるものとするための手法について、どの程度有効な手法を提案できているか。
			16	優	
			12	良	
			8	可	
見やすく親しみのある計画書の作成	10		10	特	見やすく、分かりやすい構成で、親しみのある計画書が作成できるか。
			8	優	
			6	良	
			4	可	
企画提案書に沿った的確な説明、適切な質疑回答	10		10	特	説明内容が簡潔かつ明瞭で、企画提案書の内容をよく補完しているか。提案内容の説得力が十分であると認められるか。
			8	優	
			6	良	
			4	可	
合計	140				

## ■評価基準

特：業務を行う上で十分な程度であり、他社と比較して特に優れている。

優：業務を行う上で十分な程度であり、他社と比較して優れている。

良：業務を行う上で十分な程度である。

可：業務を行う上で支障のない程度である。

※ 評価は上記の基準を参考に、採点するものとする。